

スターゼン レポート

2014年3月期(第75期)

第2四半期

2013年4月1日～

2013年9月30日



目指す姿

「バイタリティあるスターゼングループ」

お客様の声に積極的に耳を傾け、価値ある商品・サービスの提供を通じて、
更なる評価・信頼を勝ち得るグループへ

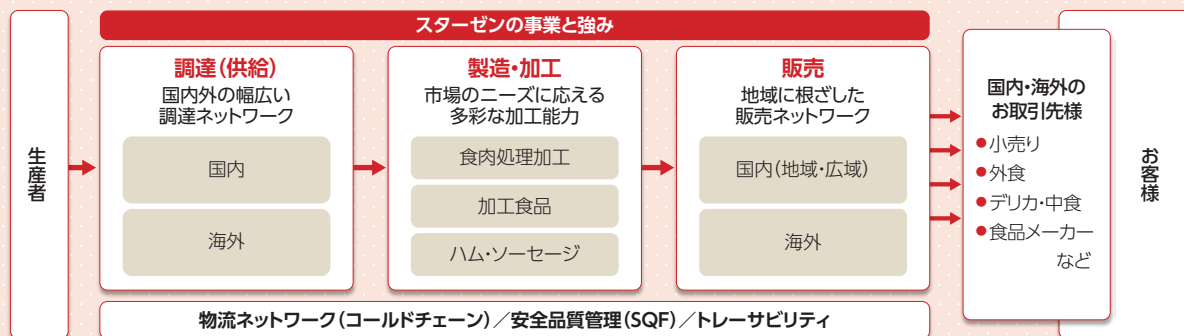
基本戦略

「攻め」の戦略

独自のサプライチェーンの機能強化によるシェア拡大

「守り」の戦略

合理化による経営体質の改善



当上半期に実行した主な施策

「攻め」の施策

ハンバーグ、ローストビーフをはじめとした
提案型商品の強化・拡充

産地との連携によるオリジナルブランドの食肉開発

米国産食肉の月齢緩和に伴う体制・調達ネットワークの強化

北米・アジアへの食肉輸出事業の推進 **詳細P3,4**

製造・加工機能の強化・拡充
関西プロセスセンターの開設 関西エリア拡販へ **詳細P4**

地域別販売会社4社の合併・販売体制の再編
全国規模の顧客への対応力・提案型営業の強化

「守り」の施策

食の安全・品質マネジメント「SQF」の
認証取得・継続的な改善活動の実施
キング食品(株)・(株)青木食品 認証取得(通算52拠点)

事務部門の業務スリム化

成長路線に向けて、グループ各社の力を結集します。

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(2014年3月期第2四半期累計期間)の食肉業界は、国産食肉の生産量の伸び悩み、輸入食肉の円安・現地高により、市況は全般的に高値で推移しました。仕入コストが上昇する中、消費者の食品への低価格志向は根強く、販売競争の激化等、厳しい環境となりました。

このような状況の中、当社グループでは、営業体制の刷新と営業力強化に向けて営業本部を新設し、4販売子会社を統合し食肉および加工食品の拡売に努めました。

また、関西エリアの拡販に向けたプロセスセンターの開設や東アジアでの市場開拓に向けたシンガポール子会社の設立など、今後の成長に向けた施策を進めるとともに、食の安全・安心の基本となる「SQF」の認証を継続推進するなど、攻守両面の施策を展開してきました。

この結果、当第2四半期の連結業績は売上高1,251億27百万円(前年同四半期比0.01%減)、営業利益6億26百万円(前年同四半期比165.3%増)、経常利益11億13百万円(前年同四半期比161.9%増)、四半期純利益は5億31百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

引き続き当社は、経営効率化を最大限追求しつつ、「食の安全・安心」を基盤に、グループ各社の力を結集し、価値ある商品・サービスの提供を通じて持続的な成長を目指してまいります。

今後とも皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **中津濱 健**



国産食肉のおいしさを世界にお届けする 輸出事業を展開しています。



国が認定する「輸出認定施設」として 北米やアジアなど6カ国へ展開

スターゼングループは、厚生労働省が認可する「輸出認定施設」※を有しており、積極的な輸出事業を展開。現在、アメリカ、カナダ、香港、マカオ、シンガポール、タイの6つの国・地域に国産食肉をお届けしています。

輸出認定施設では、牛・豚加工室の分離や専任スタッフを設置して異物混入を防止するなど高度な衛生対策に取り組んでいます。また、HACCPとISO9001を組み合わせた「SQF」（食品の安全と品質の国際的衛生管理システム）の認証も取得しており、輸出国のバイヤーや海外販売店からも高い評価を受けています。

※ 輸出認定施設：阿久根工場、三戸工場、石狩工場、三沢工場、(株)丸全（2013年9月現在）

「Wagyuブランド」を浸透させるために さまざまな営業・啓発活動を推進

近年、アジアを中心に日本食文化が注目を集めており、大きなマーケットが拓ける可能性をもっています。そこでスターゼングループでは、販売先と直に接する輸出業者への営業活動に注力。日本食レストランに対して商品提案ができる環境を構築するとともに、調理提案や食肉加工技術の指導などを実施しています。

また、鹿児島県と連携して「Kagoshima Wagyu」を浸透させるために販売指定店制度を設置。現在、25店舗（香港21、シンガポール4）を認定し、楯やパンフレットなど販促材を提供しています。さらに、輸出国で開催される商談会や食品展示会にも参加しています。

輸出事業の展開

	アメリカ 	カナダ 	香港 	マカオ 	シンガポール 	タイ 
牛肉 	○	○	○	○	○	○
豚肉 	—	—	○	○	○	—

主な事業内容

- 海外輸出対応の国産牛肉・豚肉の商品提供
- 海外での精肉加工指導・情報提供（現地での商品・催事の提案）
- 海外へ出店する企業のサポート（現地での商流・物流の構築）



シンガポールの食品展示会「Oishii Japan 2013」で鹿児島牛のプレゼン・試食販売・輸出商談を実施。



「香港フードエキスポ」の特設会場で行われた和牛のすき焼き弁当の調理講習会。200名を超える来場者と活発な意見交換が行われました。



新商品

ギフト向けの新ブランド 「マイスターズテーブル」を展開

スターゼングループ提携牧場の水迫ファームでは、独自の肥育方法とこだわりの飼料で高品質な黒毛和牛を丹精込めて育てています。「マイスターズテーブル」は、鹿児島県産黒毛和牛、黒豚を使用し、ローマイヤレストランのシェフのレシピで仕上げたこだわりの逸品です。



黒毛和牛ローストビーフセット



黒毛和牛ローストビーフ、
黒毛和牛・黒豚ハンバーグセット



新拠点

スライスパック商品の加工を担う 関西プロセスセンターを開設

スターゼングループは、関西エリアのさらなる販売の拡充を図るため、兵庫県に「関西プロセスセンター」を開設しました。同センターは、管理が煩雑な肉と野菜のスライスパック商品の加工にも対応し、お取引先様の店舗内作業の省力化や衛生管理の効率化などに貢献します。



関西プロセスセンター内(写真左)では「土佐造り風国産牛ローストビーフ(写真右)」など、当社がメニュー提案した商品の加工も行っています。



海外展開

食肉輸出の強化に向けて シンガポールに子会社を設立

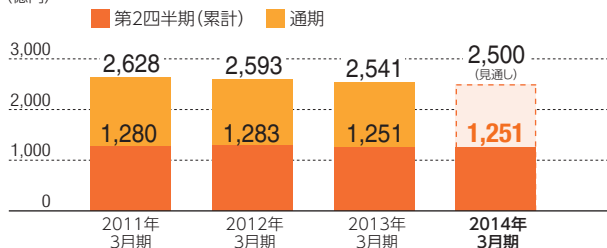
食肉需要の伸びが著しい東アジアへの畜産・食肉関連のビジネスを推進し、新たなマーケットを開拓するために、シンガポールに「スターゼンシンガポール社」を設立しました。まずはシンガポール国内で活動した後、人口が5億人を超える東南アジア地域に展開していく予定です。



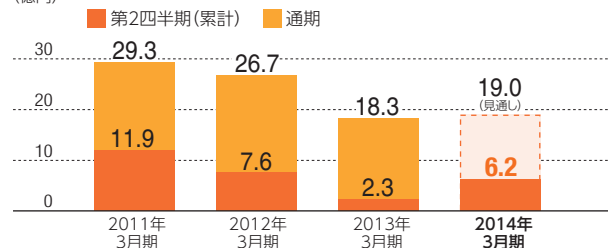
シンガポールのシンボル、マライオンの近くロビンソンロード沿いにオフィスがあります。

- 売上高** 全体的に市況が高値で推移し、国産牛肉・輸入牛肉・加工食品の売上高が伸長しましたが、輸入豚肉・輸入鶏肉の取扱量減少が大きく影響し、1,251億27百万円となりました。
- 営業利益・経常利益** 販売費及び一般管理費の削減により、営業利益6億26百万円、経常利益11億13百万円となりました。
- 四半期純利益** 法人税等調整額の増加により5億31百万円となりました。

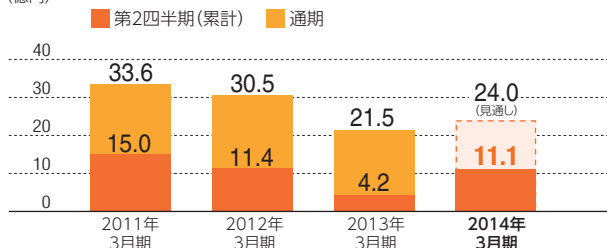
売上高
(億円)



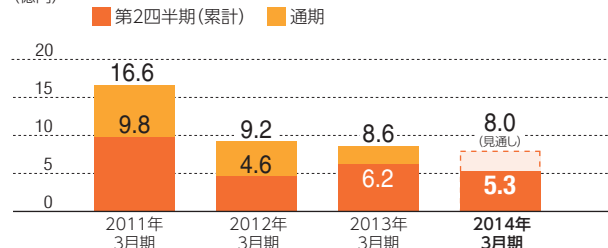
営業利益
(億円)



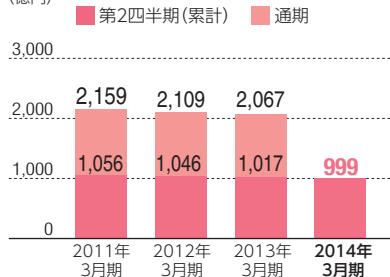
経常利益
(億円)



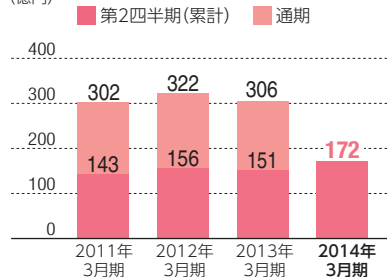
四半期(当期)純利益
(億円)



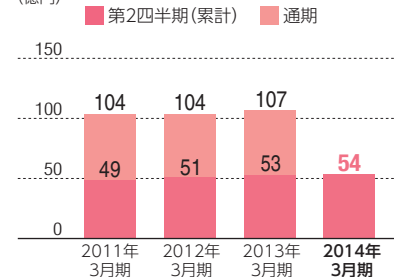
食肉 売上高
(億円)



加工食品 売上高
(億円)



ハム・ソーセージ 売上高
(億円)



会社概要

設立	1948年6月17日
本社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 港南ビル
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および販売 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	2,303名(2013年9月30日現在)

役員

(2013年9月30日現在)

代表取締役会長	鵜 橋 誠 一
代表取締役社長	中津 濱 健
常務取締役	永 野 章
常務取締役	中 井 俊 夫
取締役	寺 師 孝 一
取締役(社外)	鈴 木 宏
取締役(社外)	太 田 泰 介
取締役(社外)	善 宝 俊 文
常勤監査役	片 山 学
常勤監査役(社外)	北 條 秀 樹
監査役(社外)	杉 島 光 一
監査役(社外)	吉 原 大 吉

株式の状況

(2013年9月30日現在)

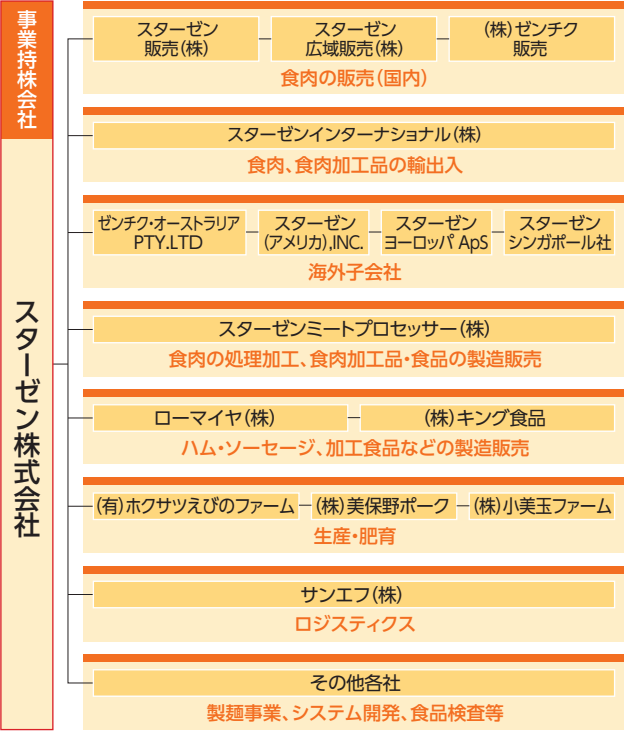
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,759,216株
株 主 数	19,249名

大株主の状況

(2013年9月30日現在)

名 称	所有株式数(千株)	割合(%)
株式会社三井住友銀行	3,249	4.19
農林中央金庫	3,044	3.92
クレディスイスルクセンブルク エスエー オンビハーフ オブ クライアンツ	2,800	3.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,799	3.61
スターゼン社員持株会	2,546	3.28
株式会社鷗橋興産	2,349	3.03
三井物産株式会社	2,216	2.86
クリアストリーム パンキング エス エー	1,900	2.45
株式会社みずほ銀行	1,603	2.07
横浜冷凍株式会社	1,532	1.97

組織図



★★★☆☆☆☆☆☆ 株主優待のご案内 ★★★★★★★★

日頃からご支援いただいている株主の皆様にご感謝の気持ちを込めまして、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

★1

自社グループ製品(3月のみ)

1,000株以上:3,000円相当

10,000株以上:8,000円相当



ハム類詰合せ



国産和牛ステーキ肉

※平成25年3月実績

★2

1,000株以上:歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を通常販売価格の20%割引(送料無料)にてご案内

★3

1,000株以上:「ローマイヤおせち」の割引販売(数量限定)20%割引(送料無料、9月のみ)にてご案内

★4

1,000株以上:「銀座ローマイヤレストラン(日本橋店)」のお食事代20%割引券を進呈



※従前の銀座店の割引券をお持ちの株主様は、日本橋店でのご利用をお願いいたします。

★ 当社ホームページのご案内

当社の各種IR資料をご覧いただけるほか、オリジナルのコンテンツを豊富にそろえています。ぜひ当社ホームページをご活用ください。



<http://www.starzen.co.jp>



トップページ

IR情報ページ

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日

定時株主総会 毎年6月下旬

公告方法 電子公告 (<http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数

1,000株

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 港南ビル

電話: 03-3471-5521

